



いよいよ夏本番。コロナウイルス対策で、マスクをしているお子さまも多いですが、こまめに水分補給をして、熱中症に注意しましょう。その他、夏風邪も流行しています。手洗い、うがい、手指の消毒など、十分に注意しながら元気に夏を過ごしましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱します。



プール熱 (アデノウイルス)

プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状もでます。

流行性角結膜炎(アデノウイルス)

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙がでます。周りの人への感染源となるのでタオルは共有しないようにしましょう。

手足口病

手の平、足の裏、口の中などに水ぼうがで、発熱することもあります。



手指の消毒時は、必ず大人が見守りましょう

新型コロナウイルス感染症対策用の手指消毒用のアルコールをなめて子どもが意識を失い、救急搬送されたとの報道が5月にありました。

検査したところ「急性アルコール中毒」と診断されたそうです。子どもは好奇心でなめたりするので消毒液は子どもの手の届かないところに置き、使用する場合は保護者の指導のもとで行うなど注意しましょう。



虫さされのあとに注意!

うっかり爪でかいてしまうと、とびひになってしまうことも。つめも伸び過ぎやささくれ、ひび割れをこまめにチェックしましょう。



今後の予定

9月中 内科健診(全クラス)



感染症発生状況 (6月~7月)

- ・突発性発疹
- ・プール熱
- ・ヘルパンギーナ
- ・アデノウイルス感染症
- ・手足口病
- ・ヒトメタニューモウイルス(流行拡大中)
- ・新型コロナウイルス感染症

■その他、咳が出ていたり、発熱の園児が多くいます。

■治癒後の登園時に、「登園届」や「意見書」が必要な感染症があります。「保育園のしおり」をご確認ください。(「ヒトメタニューモウイルス」は、記載がありませんが、「登園届」が必要になります。登園の目安などは「RSウイルス」の欄を参照してください)



新型コロナウイルス感染予防のためのお願い

部分休園やコロナウイルス感染症発生時に、お休みのご協力をいただきましてありがとうございました。

子どもの体調が普段と違う日やご家族に体調不良の方(発熱、倦怠感など)がいる場合は、お休みしていただくようお願いいたします。

お子さまやご家族が検査を受ける又は受けた場合や、濃厚接触者となった場合は、感染を広げないために速やかに保育園までご連絡をお願いします。